

At a Glance

アース製薬は、安全で、安心で、使うほどに心地よい毎日を実現するため、暮らしの中に寄り添った事業を行っています。家庭用品事業と総合環境衛生事業の2つの事業を通して、人々の健康で快適な暮らしを支えます。

家庭用品事業 ▶▶ P.32

売上高
1,390億7百万円

売上高比率
82.7%
(2023年度)

※売上高には内部売上高を含みます。

強みと注力分野

圧倒的なトップシェアを誇る虫ケア用品を中心に、入浴剤やオーラルケア用品、衣類用防虫剤、掃除用品、ペット用品など、日用品の幅広い領域で製品を展開しています。機動力・組織力を活かした売り場展開力で国内市場の活性化を進めるほか、グローバル展開にも注力し、海外への輸出展開は約50カ国まで拡大しています。「お客様目線での製品開発」により社会のニーズに応え、社会から信頼される企業を目指しています。

主なグループ会社

(株)バスクリン、白元アース(株)、アース・ペット(株)

主要製品

虫ケア用品部門

液体蚊取り:アースノーモット
ハエ・蚊アゾール:アースジェット
ゴキブリ毒餌剤:ブラックキャップ
ゴキブリ用アゾール:ゴキジェットプロ
虫よけ剤:サラテクト
置き型虫よけ:マモルーム



吊り下げ虫よけ:
アース虫よけネットEX
コバエ用捕獲器:コバエがホイホイ
園芸用殺虫殺菌剤:
アースガーデンやさお酢



日用品部門

入浴剤:バスクリン
入浴剤:きき湯
入浴剤:温泡
洗口液:モンダミン



住居用洗剤:パブルー
消臭芳香剤:スキューリ!
保冷・冷却剤:アイスノン



ペット用品・その他部門

ペットフード:ファーストチョイス
ケア用品:JOYPET



総合環境衛生事業 ▶▶ P.36

売上高
290億73百万円

売上高比率
17.3%
(2023年度)

※売上高には内部売上高を含みます。

強みと注力分野

食品、医薬品から先端医療分野まで、異物混入や汚染から製品を守るために、「総合環境衛生管理」という独自のサービスを提供し、事業者の品質保証活動を支援しています。バックボーンとなっているのは、大塚グループのGMPと現場で培ってきた独自の技術・ノウハウです。彩都総合研究所(T-CUBE)では、AIを活用した捕虫・分析システムの開発や、酸化制御技術の「MA-Tシステム®」を利用した除菌・消臭の産業応用などにも取り組み、社会に貢献する革新的なイノベーションを生み出す核としての役割を果たしています。特に未来医療・先端医療においては、再生医療分野における専門人材の育成や衛生管理手法の開発およびNakanoshima Cross(未来医療国際拠点)への参画など、イノベーション創出に取り組んでいます。

主なグループ会社

アース環境サービス(株)

主要サービス

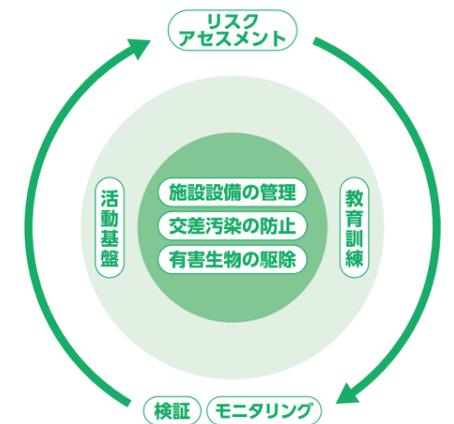
- ・各種環境モニタリング
- ・微生物・異物などの検査・同定
- ・ペストコントロール、微生物汚染防除
- ・サニテーション、特殊清掃
- ・品質保証システム構築・規格認証取得サポート、適合監査
- ・研修サービスなどの人材育成
- ・工場設計・建設サポート、ハード工事、ビルメンテナンス
- ・IoTシステム開発
- ・商品販売

総合環境衛生管理とは

独自に培ってきた技術・ノウハウ等をベースとした8つのアプローチをお客様ごとにオーダーメイドで構成する、総合的・体系的な衛生管理の支援サービスです。「環境ドクター」が事業所の衛生環境を診断し、問題点を浮き彫りにし、改善対策の処方箋を出し、治療・予防をしながら安全・安心な環境の維持・増進をサポートします。



8つのアプローチ



<p>売上高 1,583億44百万円 前年度比3.9% ↑</p>	<p>営業利益 63億70百万円 前年度比14.3% ↓</p>	<p>ROE 6.3% 前年度比2.3pt ↓</p>	<p>1株当たり年間配当金 118円 前年度比±0円 →</p>	<p>DOE 4.0% 前年度比0.2pt ↓</p>	<p>事業展開国数・拠点数 生産工場 4カ国 12拠点 現地法人 5カ国 商品の輸出先 アジア・中東・欧米を中心に約50カ国</p>
--	---	--	---	--	--

お客様の声を活かして生まれたアースブランド

アース製薬では、常に「お客様目線」を大切に、たゆまぬ新製品の開発と既存サービスの改良に取り組んでいます。市場シェアはお客様の支持率と考え、安心して快適な暮らしに貢献する製品・サービスを提供し続けます。

市場ポジション

● 虫ケア用品

国内シェア率

56.9%



出所: インテージSRI+ 殺虫剤市場(園芸剤除く) 全国計・全業態計 2023年1月~12月 累計販売金額

● 入浴剤

国内シェア率

44.1%



出所: インテージSRI+ 入浴剤市場 全国計・全業態計 2023年1月~12月 累計販売金額
※アースグループ(アース製薬、バスクリン、白元アース)

● 洗口液

国内シェア率

18.3%



出所: インテージSRI+ マウスウォッシュ(洗口液・液体ハミガキ)市場 全国計・全業態計 2023年1月~12月 累計販売金額

ベストセラー「バスクリン」

入浴剤 年間売上世界No.1としてギネス世界記録に認定(2019年)

発売50年を迎えるロングセラー「ごきぶりホイホイ」

1960年代、経営不振に陥り倒産の危機に直面していたアース製薬にとって、「ごきぶりホイホイ」は、成長の原動力となった製品です。住宅事情の変化により家屋内でのゴキブリ発生が暮らしの課題となった時代背景と重なり、1973年1月の発売後、生産能力を超えるほどの注文が殺到し、会社はこのひと夏で黒字転換を果たしました。1990年代には、類似品が数多く発売されていたものの、常にお客様目線での改良を重ねることで確固たる商品力を維持し続け、優位性を保ってきました。発売以来、今もなお国内ゴキブリ用捕獲器市場の約90%を占める製品であり、世界30カ国でも「HOYHOY」の名で販売されるなど、ゴキブリ捕獲器の代名詞として圧倒的な認知度を誇ります。



アースブランドを支える力

● 研究員数

318名

● 製造拠点

12カ所(グローバル)

● 全国販売網

約103,000件

※自社推計

● グローバル展開

世界 約50カ国へ輸出版売

● 「お客様のお気づきを活かす窓口部」対応件数

約9万件

● 総合環境衛生事業契約件数

15,208社

● 従業員満足度

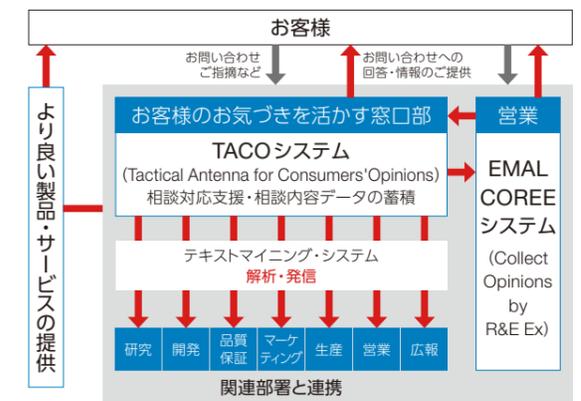
3.38

※「従業員満足度調査」による、現在の仕事・職場・上司・会社への総合的な満足度(平均点/5点満点)

お客様のお気づきを活かす仕組み

アース製薬では、お客様からの相談や申し出に迅速・丁寧に応えるため、独自のお客様対応システム「TACOシステム*」を構築しています。このデータベースには、「お客様のお気づきを活かす窓口部」やEMAL*が情報を登録する「COREEシステム」を通してお客様や小売店から収集した相談内容のデータが蓄積されます。関連部門が「お客様のお気づき」をより良い製品・サービスの提供に活用できるよう、「お客様のお気づきを活かす窓口部」がテキストマイニング・システムによる解析・発信を行っています。

※P.62「用語集」参照

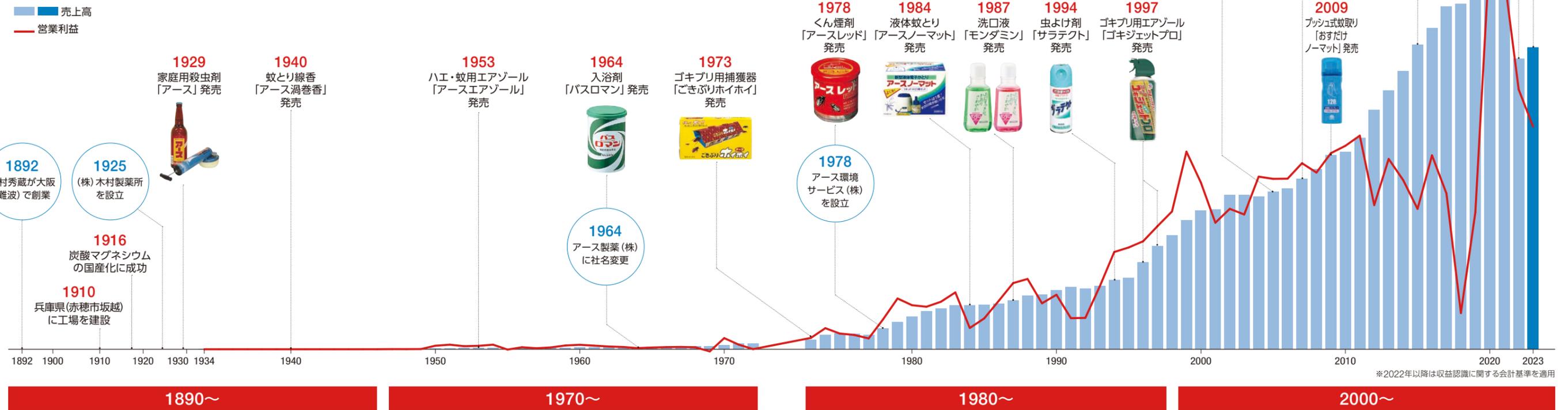


地球と人に寄り添うアースの歴史

いのち
「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」
という経営理念のもと、1世紀以上、製品・サービスの開発と普及に取り組んでいます。

アース製薬は1892年の創業以来、「お客様目線」を大切に、新製品の開発と既存サービスの改良に真摯に向き合ってきました。国内外において、環境にも配慮しながら、人々の健康と快適な生活の実現に貢献し続け、社会と共に着実な成長を遂げています。

売上高・営業利益の推移



炭酸マグネシウムの国産化に成功

1916年、天然ゴムの耐久性を高める特性がある炭酸マグネシウムの国産化に成功。アース製薬の前身である木村製薬所はにがり産業のトップランナーとなりました。殺虫ニーズの高まりを受けて殺虫剤「アース」を発売。無料配布などの販促活動によりニーズ拡大に成功し、アース製薬の認知度が全国的に広まりました。

大塚グループの資本参加

アース製薬は経営危機の状態に陥り、1970年、経営再建のために取引のあった株式会社大塚製薬工場に資金援助を要請し、故大塚正富氏を社長に招聘しました。また、1973年には「ごきぶりホイホイ」が発売され、爆発的なヒットにより累積赤字を解消、起死回生を果たしました。

綿密な市場調査でグローバル展開を推進

1980年のARS CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD. (現Earth (Thailand) Co.,Ltd.) 設立を皮切りに、グローバル戦略を推進。国によって異なる生活習慣や嗜好性などを綿密に調査し、各国の特性に合わせたマーケティング活動を行っています。現在は世界約50カ国に製品を輸出しています。

「殺虫剤」から「虫ケア用品」へ

アース製薬の開発の歴史は、既存製品の改良の歴史とも言えます。競合製品を研究し、蒸気で薬剤を拡散させる「アースレッド」や強力な噴霧力の「ゴキジェットプロ」など、より効果のある製品を次々と開発。2017年には「虫ケア用品」という独自の用語を提唱し、消費者への配慮や製品の安全性、環境対応など、機能性の追求に留まらない製品開発に取り組んでいます。

海外展開

- 1980 ARS CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.(現 Earth (Thailand) Co., Ltd.)を設立
- 1990 天津阿斯化学有限公司を設立
- 2004 アース環境サービス(株)が北京阿斯環境工程有限公司を設立
- 2005 安速日用化学(蘇州)有限公司を設立
- 2012 (株)白元が白元日用品製造(深圳)有限公司を設立
- 2015 安斯(上海)管理有限公司(現安斯(上海)投資有限公司)を設立
- 2016 アース環境サービス(株)が上海安瞬環境工程有限公司、Earth Environmental Service (Thailand) Co.,Ltd., ARS Environmental Service (Thailand) Co.,Ltd.を設立
- 2017 A My Gia Joint Stock Company (現 Earth Corporation Vietnam) を子会社化
- 2019 EARTH HOME PRODUCTS (MALAYSIA) SDN. BHD.を設立
アース環境サービス(株)が日商阿斯環境服務股份有限公司を設立
- 2020 アース環境サービス(株)がEarth Environmental Service Vietnam Co.,Ltd.を設立
- 2022 EARTH HOMECARE PRODUCTS (PHILIPPINES), INC.を設立

ステークホルダーエンゲージメント

アース製薬の事業活動は、「お客様」「社員とその家族」「サプライヤー」「株主・投資家」「地域社会」など、さまざまなステークホルダーの皆様を支えられています。各ステークホルダーの皆様と共有価値を創出するために、コミュニケーションを重視し、対話ができる環境づくりを目指しています。

ステークホルダー	ステークホルダーの期待・関心・ニーズ	アース製薬の責任	エンゲージメント手段	ステークホルダーと共有する価値	
				共有価値の事例	関連する資本
 <p>お客様 (消費者・お取引先様)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新製品の開発 消費者のニーズの多様化に対する最適なサービス 日常生活における公衆衛生に関わる心配事に対する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> お客様の生命と暮らしに寄り添い、製品・サービスを通じて良質で快適な暮らしを提供することに努めます。 お客様とのコミュニケーションを大切に、いただいた声をより良い経営に生かすことに努めます。 公正な取引に関連する法令や社内ルールを遵守します。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様からお気づきを頂く窓口によるサポート 広告宣伝 ウェブサイトなどによる情報提供 営業活動を通じたコミュニケーションなど 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の悩み解決実績窓口対応件数 「お客様からお気づきを頂く窓口」から生まれた製品 安定した製品の供給 市場ニーズに即した製品の提供 サプライチェーンプラットフォーム 	 <p>社会・関係</p>
 <p>社員とその家族</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全な職場環境 働き方改革、柔軟な働き方の実現 ダイバーシティ エンゲージメント向上 モチベーションアップ 心理的安全性の確保 ワークライフバランスの実施 納得感のある評価、賞金 キャリア形成、キャリア教育 	<ul style="list-style-type: none"> アースバリュー「人がすべて」の価値観に基づき、社員間のコミュニケーションを大切に、社会とともに発展・成長します。 社員が働きがいや、やりがいをもって活躍できる職場を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 社内報・イントラネット 各種研修の実施 ピアボーナス制度 個別目標管理 個別面談など 	<ul style="list-style-type: none"> 有給休暇取得率の向上 女性管理職比率の向上 従業員満足度・組織力の向上 従業員1人あたり/単位時間あたりの売上高・営業利益率の向上 昇給 研修機会(リスキリング)の提供 健康管理、ヘルスリテラシーの向上 	 <p>人的/知的</p>
 <p>サプライヤー</p>	<ul style="list-style-type: none"> 低コスト・高品質 環境技術 生産性向上 人権や社会に配慮した調達 機会や健康の平等性 	<ul style="list-style-type: none"> 購買方針に基づき、公正に取引先を決定します。また、取引先の皆様にサステナビリティ活動を励行いただけるよう、サステナブル調達を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 購買活動を通じたコミュニケーション CSRセルフアセスメントの実施など 	<ul style="list-style-type: none"> お取引先様、ステークホルダーの皆様との提携による社会的責任の遂行 社会的信頼の向上(関係構築) 	 <p>社会・関係/自然</p>
 <p>株主・投資家</p>	<ul style="list-style-type: none"> 株主への適正な利益還元 遅延のない利払い・元本(借入金)の返済 企業価値(時価総額)の向上 新規事業の収益化 既存事業の収益性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 適時・適切な情報開示により、説明責任を果たし、経営理念やビジョン、計画などの理解促進を図り、企業価値が適正に評価されることに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 株主総会 機関投資家・アナリスト向け決算説明会 個別面談 ウェブサイトなどによる情報提供 施設見学会など 	<ul style="list-style-type: none"> 配当 総還元性向 TSR(10年) 利子 元本返済 	 <p>財務</p>
 <p>地域社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減 循環型社会の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会との共生を目指し、保健衛生の向上、文化・スポーツの支援などに取り組み、社会に貢献します。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃活動 出張教室の実施 各種イベントの開催 各地方自治体との包括連携協定 出前授業 フィールドマーケティングや園芸の活動、グローバルフェスタなど 	<ul style="list-style-type: none"> 地球規模での感染症などの減少に寄与する取り組み 被災地、途上国や貧困者への寄付と支援への参画 製品の提供・啓蒙活動を通じた虫媒介感染症の拡大防止 防災に寄与する製品開発による地域貢献 インターンや訪問の受け入れ、学生の社会学習機会の創出 	 <p>社会・関係</p>
 <p>地球</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減 生物多様性の保全 循環型社会の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境にやさしい製品・サービスの提供を通じて、地球環境の保全に貢献します。 自然を正しく理解した上で、地球との共生を実現します。 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素 脱プラスチック 生物多様性の保全活動など 	<ul style="list-style-type: none"> アースECO基準に基づいた商品開発 脱炭素社会の実現 再生可能エネルギー化 水使用効率の向上 森林認証紙の使用 産業廃棄物のゼロエミッション 各種コンソーシアムや評価機関への対応と取り組み 外来生物の防除、森林保全、種の保存(生物多様性を守るための各種取り組み) 	 <p>自然</p>